

カラークリエイター プラス 子育てカラークリエイター

第8回

～ものづくり編～

スタンプを作ってプリントして遊ぼう！



染色の技法の一つに、ブロックプリントという
木版を使ったプリントの技法があります。
インドで生まれた伝統的な技法です。

インドのブロックプリントは特殊な下処理をして
染料を化学反応で発色させるという技法です。
とても可愛らしく、味のあるものですが
再現するには色々な材料を揃えなくてはなりません。

そこで今回は、消しゴムや木の端材を使ってハンを作り
顔料でプリントをして遊ぼうと思います。

材料費がかかったり、入手に手間がかかる心配がありません。

お子様と一緒に楽しむことも可能です。

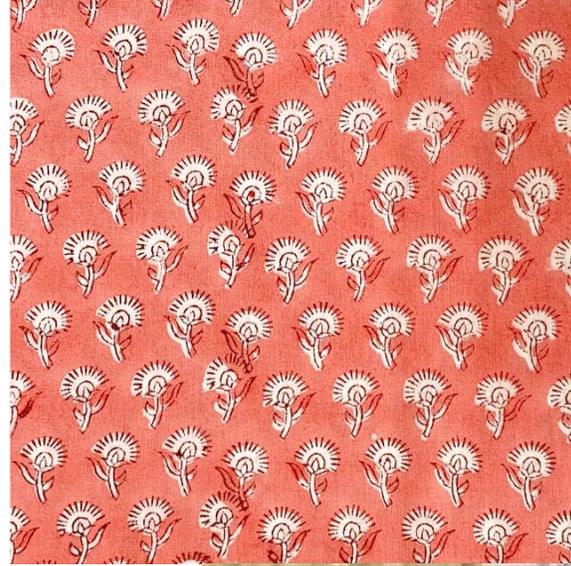


木版を見よう



ブロックプリントの生地





～ハンコ作り 用意するもの～

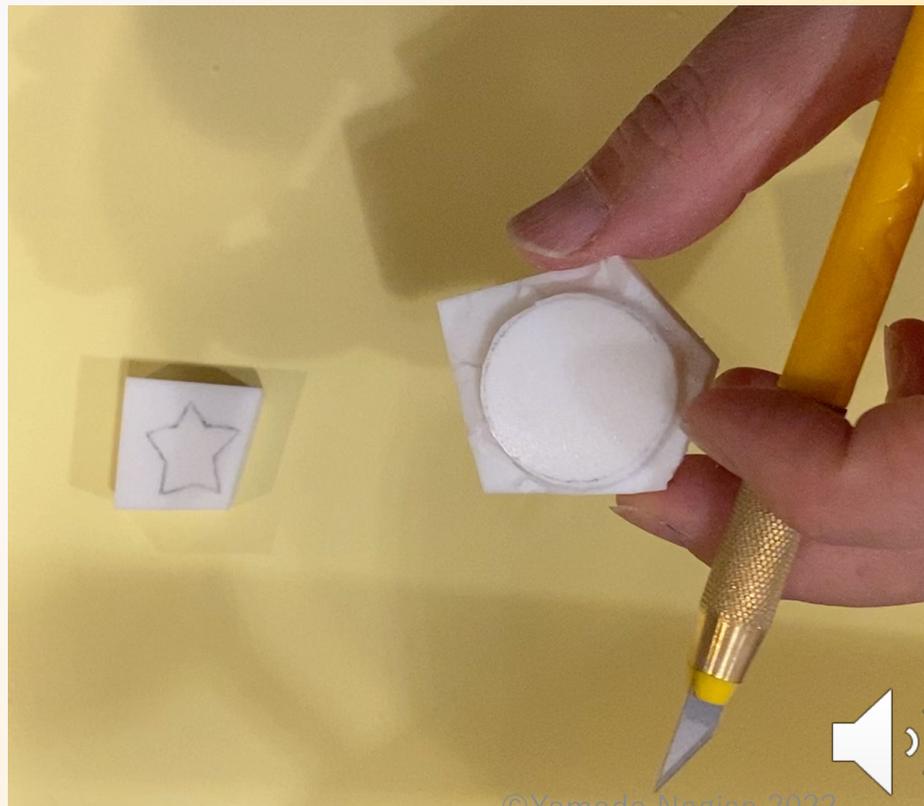
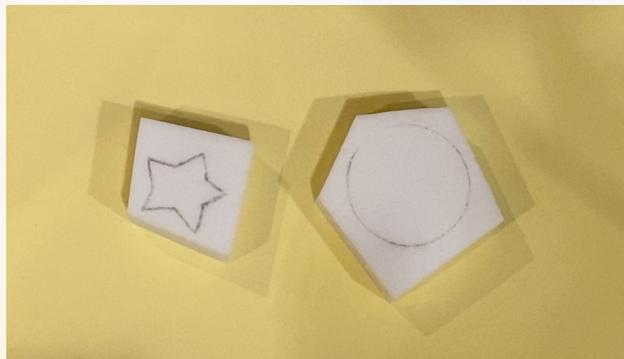
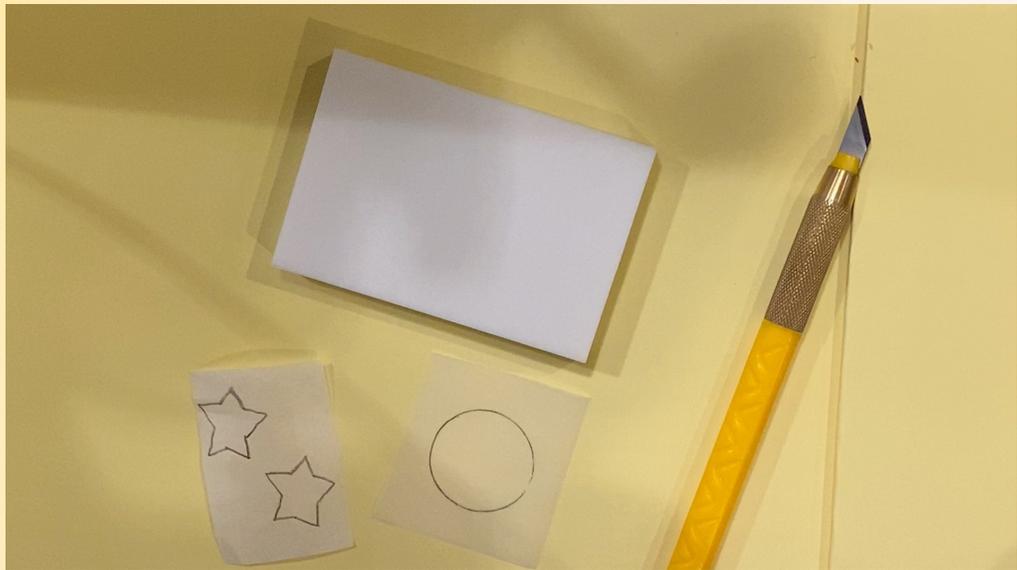
- 消しゴム
- トレーシングペーパー（クッキングシート）
- デザインカッター、彫刻刀



- 工程

- 図案をトレーシングペーパーに描く
- トレーシングペーパーから消しゴムに図案を写す
- カッターで切り抜く







～その他、ハンコに使えるもの～

- 木の端材
- 積み木
- 野菜(パプリカ、レンコン、さつまいも等)
- 手や足、指





～用意するもの～

- 生地（綿、麻）
- 消しゴム、木の端材
- 布用絵の具（またはアクリル絵具、木工用ボンド）
- バット
- 不要な生地
- 作業台





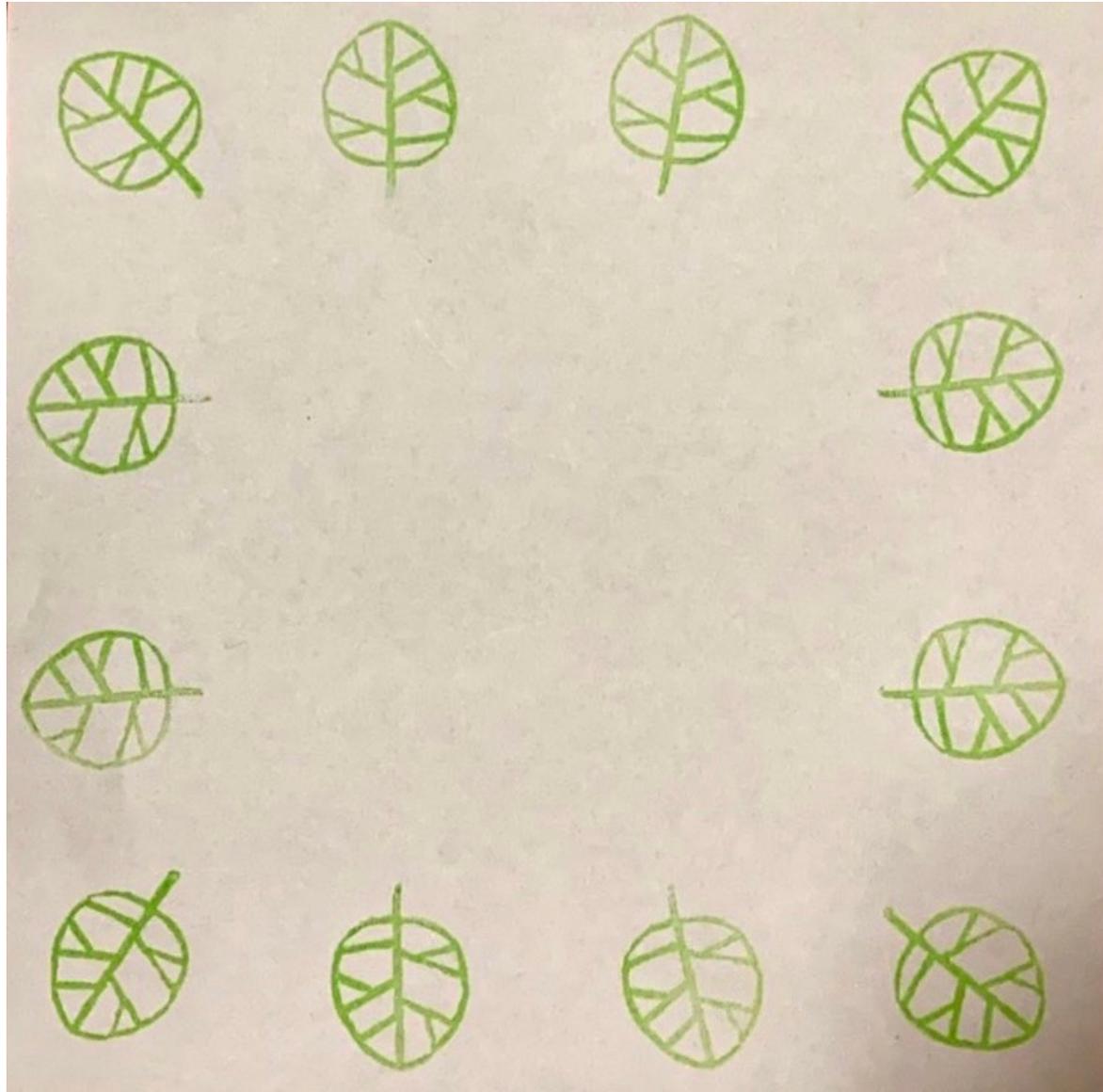
染める

バットに出した絵具を直接消しゴムや木の端材に付け
そのまま生地にスタンプしていきます。

- 絵の具が均一に乗った方がよければ端切れの上に絵の具を出し
均一に染み込ませてスタンプ台の代わりにします。









スタンプで体験できること

ブロックプリントは小さい図柄の集合で一つの作品を完成させることができます。単純な円や三角の集合で、お花や家を作ってみたり図柄を連続させて模様を作ったりすることが可能です。

小さい頃から図形を触って、三角の組み合わせで四角ができたり四角が並ぶとどうなるか。

遊びながら体感していくことで、将来図形に強くなります。

手型などをパネルやクッションにして、インテリアにしても素敵です。





次回は・・・

